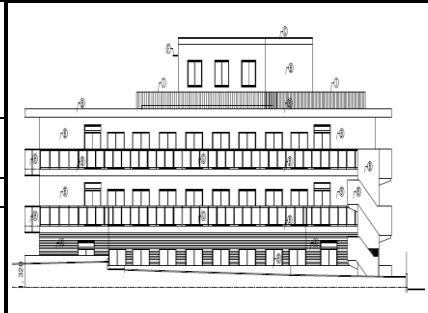


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v.1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	社会福祉法人 高志会 特別養護老人ホーム(仮称)み春野れんげの丘 新築工事	階数	地上3F
建設地	千葉県千葉市花見川区宇那谷町 176番5、182番2、183番、187番2	構造	RC造
用途地域	用途地域 指定なし、防火地域 指定	平均居住人員	150人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年1月 予定	評価の実施日	2023年8月28日
敷地面積	5,000 m ²	作成者	山口 孝明
建築面積	2,085 m ²	確認日	2023年9月22日
延床面積	5,573 m ²	確認者	高橋 弘充



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)								
<p>BEE = 0.9 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超+: ☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <table border="1"> <tr> <td>①参照値</td> <td>184</td> </tr> <tr> <td>②建築物の取組み</td> <td>95</td> </tr> <tr> <td>③上記+②以外の</td> <td>89</td> </tr> <tr> <td>④上記+</td> <td>89</td> </tr> </table> <p>(kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	①参照値	184	②建築物の取組み	95	③上記+②以外の	89	④上記+	89	
①参照値	184									
②建築物の取組み	95									
③上記+②以外の	89									
④上記+	89									

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Q のスコア = 2.7</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.6</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.9</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.5</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.2</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.2</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.3</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>主要給排水配管は耐用年数が長い材料を使用している。 ライフサイクルCO₂排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。</p>		<p>その他</p> <p>特になし</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>共用部分: 2.0% ≤ [屋光率] < 2.5% 居室部分: 1.25% ≤ [屋光率]。 自然換気有効開口面積が居室床面積の1/10以上。 ビル全体の禁煙が確認されている。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>個室10m²/床以上。 電気配線が配管内とラック上に設置されますので、仕上材を痛めることなく、更新・メンテナンスができます。 通信配線が配管内とラック上に設置されますので、仕上材</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>特になし</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>BPI_{lm}=0.75。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 床: フロアリュウム ナットィNW、タイルカーベット 断熱材: 押出法ポリスチレンフォーム。 ODP=0, GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>光害対策ガイドラインと広告物照明の扱いの項目の過半を満たす。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される